

研究課題名

無症候性総胆管結石症における治療成績の後方視的研究

研究責任者の氏名

片岡 史弥

共同研究者の氏名

河口 順二

研究の概要

消化器内科では、胆道・膵臓病変に対して内視鏡治療を行っております。内視鏡治療は経口的に全ての処置を行うことで、低侵襲な治療と考えられています。今回、胆道・膵臓疾患に対する内視鏡処置を含む治療法の安全性・有用性を検討するために、後ろ向き研究(今までの臨床データを解析して、治療成績や患者さんの自然経過を見させていただく研究)を行います。

2007年4月から2025年3月までの間に、胆道・膵臓病変に対して内視鏡処置を含む治療を受けられた方を対象として、問診、内視鏡処置内容、血液検査結果、画像検査などの診療録の情報を調査いたします。

利用する試料・情報

この研究は、過去の診療記録を用いて行われており、該当する方の現在・未来の診療内容には全く影響を与えませんし、不利益を受けることもありません。解析にあたっては、個人情報には匿名化させていただき、その保護には十分に配慮いたします。当然ながら、学会や論文などによる結果発表に際しても、個人の特定が可能な情報は全て削除されません。

研究責任者および連絡先

連絡先: 松波総合病院 消化器内科 片岡 史弥

電話番号: 058-388-0111